

2023 年『資本論』深掘り講座(第 9 回)ニュース

—第 3 巻の真価を探る—

前回の講義内容

■ワンポイント

日経新聞の企業調査によると、生成 AI 導入の狙いは何かという質問に対して、①「労働時間の削減」②「生産性の向上」③「人件費削減」だという。(8月4日付)まさに機械の資本主義的利用の目的が表明されています。機械は剰余価値生産の手段でしかありません。機械導入により人件費が削減され生産性の向上につながるというのです。本来、機械は労働の軽減と労働時間の短縮に資するものなのに、資本主義では労働者には全く逆に作用します。『資本論』第 1 巻第 4 篇第 13 章第 2～3 節を再度学習しましょう。

■商業利潤の解明

総産業資本 $900(720c+180v)+180m$ が成立する場合、平均利潤率は $p' = 20\%$ になります。ここに 100 の商業資本が参加すると $180m/(720c+180v+100x)$ となり平均利潤率は $p' = 18\%$ に変化します。総剰余価値は産業資本家 162m と商業資本家 18m に分配されることになるのです。商品価格は「卸価格」($720c+180v+162m=1062$) に「商業利潤」(18m) が付け加えられて「小売価格」(1080) で販売されますが総価値は変わりません。「より立ちいった意味での生産価格」が成立するのです。商業資本は、剰余価値の生産には参加しませんが平均利潤率の形成には参加するのです。商業資本の参加により流通時間の短縮、コストの削減により全体として剰余価値の増産に貢献するのです。ここに追加資本として純粋な流通費 50 が入った場合どう変化するでしょう。マルクスは「名目的価値」として「販売価格に入り込む」としています。新しい平均利潤率は $17\frac{1}{7}\%$ に変化します。50 は「純粋な流通費」で「空費」ですが、社会の総剰余価値から補填されることになります。

本日の学習 第 5 篇 利子論 (1)

時間割

講義Ⅰ 13:00～14:00 (60分) 講義Ⅱ 14:10～15:10 (60分) 講義Ⅲ 15:20～16:20 (60分) 質疑応答 16:30～16:55 (25分) 片付け終了 16:55～17:00

■終了後の質問感想についてはメールでお願いします。 mitioT@outlook.jp

次回

■第 10 回講座 10 月 1 日 (日) 13:00～17:00

■エデュカス東京地下会議室 (JR 市ヶ谷駅 地下鉄有楽町線麴町駅) ■「第 5 篇利子論 (2)」

ご案内

第 2 回特別講座

■10 月 8 日 (日) 13 時～17 時 ■エデュカス東京地下会議室

■テーマ:「新しい資本主義」に代わる近未来像:「DX 変革」論をどうみるか

■講師 宮川 彰先生 ■受講料 500 円 (zoom 参加者もお願いします)

「Daskapital を読む会」

■9 月 23 日 (土祝) 13:00～17:00 ■祝日は八重洲倶楽部使用不可につき zoom にて開講

■内容 第 1 巻のまとめ ■講師 宮川 彰先生

『資本論』第一巻講座

■本講座 9 月 17 日 (日) 開講 13:00～17:00 ■エデュカス東京

■講師 村上 裕先生 ■内容: 序・第 1 章 第 1・2 節

以上